



平成29年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション  
 コード番号 3370 URL <http://www.fujitacorp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 博章  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-84-8888

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,402	6.6	1	97.6	23		21	
28年3月期第2四半期	2,571	9.6	59	38.7	45	291.7	44	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	15.13	
28年3月期第2四半期	45.19	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	3,774	127	3.4	88.16
28年3月期	4,018	150	3.7	103.92

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 127百万円 28年3月期 150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期		0.00		0.00	0.00
29年3月期		0.00			
29年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,022	2.5	120	21.6	76	27.8	57	25.2	40.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	1,446,400 株	28年3月期	1,446,400 株
29年3月期2Q	79 株	28年3月期	79 株
29年3月期2Q	1,446,321 株	28年3月期2Q	982,121 株

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済・金融政策により、企業収益の改善や雇用情勢の緩やかな回復傾向であります。中国経済の急激な減速や英国のEU離脱問題等の海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

飲食業界につきましては、企業間の競争は激化する一方で、各社が新規出店や改装、不採算店舗の業態転換等、多様化する消費者のニーズを捉えるためにしのぎを削っております。

このような状況のもと、当社は平成26年4月に策定した経営改善計画に基づいて不採算店舗及び事業からの撤退を進めるとともに、各店舗におきましては、お客様に提供する商品及びサービス等の基本事項の見直し・向上を図るとともに、販売管理費等のコストコントロールを継続し、顧客満足度の向上と収益改善の両立に努めてまいりました。また、平成28年3月に株式会社アスラポート・ダイニングと「業務資本提携契約」を締結し、当社のオリジナルブランドである「かつてん」のフランチャイズビジネスのモデル店舗の出店、新規事業への参入及び出店に向けて準備を進めております。

当第2四半期会計期間末における当社の展開業態は15業態、稼働店舗は73店舗（前年同四半期末、18業態79店舗）となりました。店舗数の減少、飲食部門の主力ブランドの売上低迷や台風の影響に伴う食材の高騰等により、当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,402百万円（前年同四半期比6.6%減）、営業利益1百万円（同97.6%減）、経常損失23百万円（前年同四半期、経常利益45百万円）、四半期純損失21百万円（前年同四半期、四半期純利益44百万円）となりました。

セグメント別の情報は、次のとおりであります。

#### ① 飲食部門

当第2四半期累計期間における飲食部門におきましては、フランチャイジー事業は、フランチャイズ本部主導の販売促進活動を、オリジナルブランド事業は、季節限定商品の提供を実施し続けることで、商品の付加価値を高め、スマートフォンのアプリやクーポンを使用した販売促進活動で、季節限定商品の訴求や、期間や商品を限定した告知を行ってリピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食部門の当第2四半期会計期間末の店舗数は61店舗（前年同四半期末67店舗）となり、当第2四半期累計期間の売上高は、主力ブランドの売上減が著しく、1,954百万円（前年同四半期比5.6%減）、セグメント利益4百万円（同92.9%減）となりました。

#### ② 物販部門

当第2四半期累計期間における物販部門におきましては、飲食部門と同様にフランチャイズ本部主導によるインターネット媒体によるリピーター向けの販促活動や来店顧客向けの店内イベントの開催を行ってまいりました。

物販部門の当第2四半期会計期間末の店舗数は、前年同四半期と同数の12店舗となり、当第2四半期累計期間の売上高は447百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント損失2百万円（前年同四半期、セグメント損失2百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は928百万円となり、前事業年度末に比べ183百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が153百万円、商品及び製品が19百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,846百万円となり、前事業年度末に比べ60百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が25百万円増加したものの、有形固定資産が85百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は3,774百万円となり、前事業年度末に比べ243百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は839百万円となり、前事業年度末に比べ162百万円減少いたしました。これは主に1年内返済予定長期借入金が91百万円、短期借入金が50百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,807百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が55百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,647百万円となり、前事業年度末に比べ220百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は127百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円減少いたしました。これは主に繰越利益剰余金が21百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は3.4%（前事業年度末は3.7%）となりました。

(3) 業績予想等の将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月13日の「平成28年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、平成26年4月に策定した経営改善計画に基づき、不採算店舗の閉店及び譲渡を行った結果、前年同四半期に比べ5店舗減少したことに伴い、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ6.6%減少しました。

不採算店舗及び事業からの撤退による店舗数の減少に伴う事業規模の縮小傾向に歯止めをかけ、早期に経営基盤の安定を図るため、販売管理費の徹底した削減や設備投資の抑制を継続するとともに、前事業年度に資本の増強を目的とした第三者割当増資を実施し、前事業年度末に債務超過を解消いたしました。

しかしながら、当第2四半期累計期間において経常損失23百万円、四半期純損失21百万円を計上し、依然として厳しい経営環境で推移しております。また、当社の有利子負債は3,122百万円と総資産の82.7%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、取引金融機関から返済条件の緩和を継続して受けている状況にあります。こうした状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、以下のとおり当該重要事象等を解決するための対応策を実施しているため、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められません。

事業面におきましては、期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやクーポンを使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費及び設備投資の抑制等のコスト削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。また、平成28年3月に株式会社アスラポート・ダイニングと「業務資本提携契約」を締結し、飲食事業、卸売事業、製造・販売事業を組み合わせた販売コストの削減及び新規事業の共同開発等を行って、より安定的に営業利益及び営業キャッシュ・フローを獲得し得る体制を構築してまいります。

また、資金面におきましては、当社の主力取引銀行の支援のもと、取引金融機関に対し、長期借入金元本の返済条件の緩和継続を要請し、同意を頂いております。経営改善計画の確実な遂行により、その後も継続的な支援を受けられる見込みであります。

当該金融支援と経営改善計画の着実な実行により、財務体質の改善を図るとともに、経営基盤を強化し、より安定的な営業利益及び営業キャッシュ・フロー並びに当期利益の獲得を予定しております。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	630,747	477,046
売掛金	205,195	207,637
商品及び製品	135,806	116,599
原材料及び貯蔵品	48,759	45,422
その他	91,125	81,714
流動資産合計	1,111,634	928,420
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,224,486	1,153,558
工具、器具及び備品(純額)	120,093	109,430
土地	573,649	573,649
その他(純額)	37,345	33,521
有形固定資産合計	1,955,574	1,870,160
無形固定資産	147,994	147,634
投資その他の資産		
投資有価証券	75,977	76,139
長期前払費用	7,488	7,693
敷金及び保証金	679,507	640,041
その他	58,540	122,948
貸倒引当金	△18,346	△18,309
投資その他の資産合計	803,167	828,512
固定資産合計	2,906,736	2,846,308
資産合計	4,018,371	3,774,729
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	159,360	129,158
短期借入金	366,569	316,408
1年内返済予定の長期借入金	223,446	131,493
未払法人税等	13,169	11,505
資産除去債務	5,200	5,200
その他	234,741	246,016
流動負債合計	1,002,486	839,781
固定負債		
長期借入金	2,720,601	2,665,226
資産除去債務	6,360	8,433
その他	138,620	133,780
固定負債合計	2,865,582	2,807,439
負債合計	3,868,068	3,647,220

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	505,002	505,002
資本剰余金	164,551	164,551
利益剰余金	△530,729	△552,618
自己株式	△53	△53
株主資本合計	138,770	116,882
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,531	10,626
評価・換算差額等合計	11,531	10,626
純資産合計	150,302	127,508
負債純資産合計	4,018,371	3,774,729

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	2,571,378	2,402,196
売上原価	904,246	860,682
売上総利益	1,667,131	1,541,513
販売費及び一般管理費	1,607,306	1,540,076
営業利益	59,824	1,437
営業外収益		
受取利息	7,070	206
受取配当金	1,685	1,025
不動産賃貸料	89,474	86,648
受取保険金	277	2,387
その他	6,708	1,423
営業外収益合計	105,214	91,690
営業外費用		
支払利息	43,149	38,428
不動産賃貸原価	75,781	73,146
その他	599	5,098
営業外費用合計	119,530	116,672
経常利益又は経常損失(△)	45,509	△23,545
特別利益		
投資有価証券売却益	47,702	—
店舗譲渡益	—	50,000
特別利益合計	47,702	50,000
特別損失		
固定資産除却損	1,251	470
固定資産売却損	13,671	—
店舗閉鎖損失	28,067	44,083
特別損失合計	42,990	44,553
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	50,221	△18,098
法人税、住民税及び事業税	5,839	3,789
法人税等合計	5,839	3,789
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,381	△21,888

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	50,221	△18,098
減価償却費	92,844	79,560
店舗閉鎖損失	28,067	44,083
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3,050	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△47,702	—
店舗譲渡益	—	△50,000
受取利息及び受取配当金	△8,755	△1,231
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△37
支払利息	43,149	38,428
固定資産除売却損益(△は益)	14,922	470
売上債権の増減額(△は増加)	△23,085	△2,442
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,970	22,543
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,369	5,772
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,396	△30,202
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,654	59
その他の流動負債の増減額(△は減少)	14,692	15,540
預り保証金の増減額(△は減少)	△5,137	△1,610
小計	141,717	102,836
利息及び配当金の受取額	8,764	1,231
利息の支払額	△42,253	△37,569
法人税等の支払額	△10,244	△7,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	97,984	59,039
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,282	△1,293
投資有価証券の売却による収入	195,891	—
有形固定資産の取得による支出	△32,944	△19,963
固定資産の売却による収入	12,244	—
店舗譲渡による収入	—	50,000
短期貸付金の増減額(△は増加)	2,110	2,045
長期貸付金の回収による収入	646	1,144
長期貸付けによる支出	△6,480	△67,900
敷金及び保証金の回収による収入	24,089	30,239
その他	△16,157	△2,955
投資活動によるキャッシュ・フロー	178,117	△8,683
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△72,994	△50,160
長期借入金の返済による支出	△261,914	△147,328
リース債務の返済による支出	△5,069	△3,928
その他	△2,782	△2,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342,760	△204,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66,659	△153,700
現金及び現金同等物の期首残高	413,382	630,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	346,723	477,046

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	飲食	物販	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,071,181	500,196	2,571,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,071,181	500,196	2,571,378
セグメント利益又は損失(△)	62,310	△2,485	59,824

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	飲食	物販	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,954,684	447,512	2,402,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,954,684	447,512	2,402,196
セグメント利益又は損失(△)	4,426	△2,989	1,437

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。